

小代中だより

「自ら未来を切り拓く
心豊かな生徒の育成」

香美町立小代中学校

No. 3 令和8年6月23日

～ 体験したから、わかること、気づくこと ～



3年生、2年生は、先日修学旅行、トライやる・ウィークという大きな2つの体験学習を無事に終えました。1年生は5月にわくわくオーケストラ教室、うへ山の棚田での田植えを行いました。どの学年も実体験でしか得られない学びが多くあったことと思います。「百聞は一見に如かず」とはまさにこのことではないか、と思うほど、実際に自分の目で見て、体験したことは、何よりも大きな学びとなったことでしょう。今後は体験から得られた気づき、感動を自己の成長に繋げることが、大切になってきます。そのためにも、しっかりと振り返り、気づきや課題を自分の言葉で表し、まとめていきましょう。

修学旅行

3年生は、6月3日～5日の3日間東京方面へ修学旅行に行ってきました。心配していた台風も行程には大きく影響せずに予定通り進めることができました。見上げるほどの高層ビル、複雑な都内の地下鉄の路線、海外からの多く観光客でにぎわう通り、普段の小代での生活とは何もかもが違い、ホテルに帰ると気持ちの高ぶりとともに大きな疲労感を感じたのではないのでしょうか。最終日には地方の物産等を扱うアンテナショップでインタビューをしました。どのお店の方もお仕事中にもかかわらず、丁寧に答えてくださいました。生徒は知らない土地で初めて会う方々へのインタビューで、緊張したことと思いますが、どのショップでも温かく誠意をもって答えてくださったおかげで、準備していた全ての質問をすることができました。これからの総合的な学習の「小代の未来を考える」学習に繋いでいきましょう。



「ちいきと」では、様々な地域の特産品の販売や店内のカフェで地域の食材を使った食事の提供もされています。店内には兵庫県養父市の朝倉山椒なども販売されていました。また、大学で地域産業や地域づくりを学ぶ学生さんにインタビューをさせていただき、「ちいきと」の取組についてお聞きすることができました。(浅草 「ちいきと」にて)



豊岡市で鞆の製造・販売をされている「ウノフク」さんは、現在4代目の方が経営されているそうです。時代に合わせながら、全国の一流のモノが集まると言われる銀座でお店を営まれています。きれいな店舗には、出石焼のカップ、風鈴も並んでいました。少し緊張しながらのインタビューでしたが、とても優しく丁寧に答えていただき、緊張も自然とほぐれました。(銀座 4U by UNOFUKUにて)

他にも、新橋にある「とっとり・おかやま新橋館」、浅草の「神戸牛ダイア」でインタビューをしました。どのショップでも、地方にある魅力ある物産、豊かな食材を見て、触れて、味わってもらい、多くの人に伝えようとしていることがわかりました。それぞれの地域が自信のあるものを自信を持って提供しておられました。これから「小代の未来を考える」にあたり、生徒の皆さんは小代の何に誇りを持ちたいと思いましたか。ふるさと小代の未来に何が必要なのかをこれからも引き続き考えていきましょう。

保護者の皆さまには、八鹿駅までの送迎につきまして、大変お世話になりました。早朝、遅い時間にもかかわらずご協力いただきましたことに心より感謝申し上げます。ありがとうございました。

トライやる・ウィーク

6月1日～5日の5日間、2年生はトライやる・ウィークで、おじろスキー場、いこいの里、小代子育て・子育て支援センター、吉滝キャンプ場、村岡学校給食センター、小代小学校、温泉保養館おじろん、尼崎市立美方高原自然の家の8事業所で職場体験をさせていただきました。わずか5日間の体験ですが、生徒にとっては働く大人の姿を見て、直接指導していただくとても貴重な体験となりました。18日には、トライやる・ウィーク発表会で、それぞれが5日間の職場体験の内容や学んだことを、発表しました。体験したことを整理し、言葉で表し、発表することで、その経験は多くの人と共有され、互いに学び合える活動となりました。

トライやる・ウィークは5日間ですが、その準備、まとめを入れると1ヶ月くらいはトライやる・ウィークのために費やしていることでしょう。準備をする中で、電話のかけ方、挨拶の仕方、相手に伝わりやすい話し方など、マナーに関わることを学びました。マナー良く行動するということは、他者の視点から自分を見られるようになるということです。周りの人を不快な気持ちにさせない、相手に対する敬意の気持ちを持つ、といった考え方を持って行動できるかどうかです。マナーを含め、この5日間の働く体験は、2年生の生徒にとっての大きな学びとなったのではないかと思います。

生徒たちのために、5日間の職場体験の場をご提供いただきました事業所の皆様には、心より感謝申し上げます。ありがとうございました。

残酷マラソンボランティア

今年も残酷マラソンが6月14日(日)に開催され、3000人を超えるランナーの皆さんが過酷なコースに挑戦されました。小代中学校の生徒もボランティアとしてソーメンを配ったり、ゴールテープの係をしたりと忙しく動いていました。茅野地区の給水所では2年生が、次々に通過するランナーの方々へ、飲み物や食べ物を渡しました。後半はさすがに疲れてきた様子も見られましたが、元気よくランナーの皆さんに声をかける姿が最後まで見られました。走り終わった方の爽やかな笑顔と、ゴール近くから聞こえる「頑張れ～、後少し!」という声援、グラウンドにたくさんの笑顔が溢れていました。

毎年全国から多くの方が参加されるこのマラソン大会の魅力は、小代の美しい空気と景色、人の温かさによるものなのではないかと今年も思いました。



但馬中学校総合体育大会陸上競技大会 6月15日・16日

男子走幅跳 第5位 井上 拓斗 5m58 男子3年生100M 第8位 井上 拓斗 12.38
男子200M 第7位 中井 唯人 27.71 女子砲丸投 第3位 朝倉 小都 7m74
男子4×100mR 第7位 (吉田圭一郎・井上拓斗・中井唯人・井上恵翔)

豊岡オリンピック 4月25日

男子中学生 走幅跳 第3位 井上 拓斗 5m14
第6位 中井 唯人 4m67
男子中学生 砲丸投 第3位 吉田 圭一郎 6m08



4月25日には豊岡オリンピック、6月15日・16日には但馬中学校総合体育大会陸上競技大会が行われました。競技に参加した選手はそれぞれが自己ベストを目指し、精一杯の力で競技に臨みました。応援に駆けつけていただきました保護者の皆さま、ありがとうございました。